

自由記述欄に寄せられたご意見に園としての考え（反省・説明・理解・お願い等）をまとめましたので、ご一読願います。

（こども園つみき）No. 1

部門	自由記載内容（一部要約）	自由記載内容に対する検討内容および回答
運営全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 発表会や運動会など0～2までの子達もやってほしいです（保育園でしか見られない姿を楽しみにしている保護者も多いはず）</li> <li>• テレビで流している写真もポートフォリオのようにこども園のホームページで見られるようになると良いと思います。</li> <li>• 雪でぐちゃぐちゃの時に外遊びをするとつなぎの中まで濡れてしまって体も冷えて風邪を引かないか心配です。</li> <li>• 前回のアンケートも返答で納得のいかない部分がありました。夏の暑い日に子どもの顔が真っ赤になっていたり、頭が痛いと言っていたことが何度もあったので、”子供の体調管理はしっかりとしてほしいと伝えたとこ、園からの反応は「そういったところがあったらすぐにお知らせください」というような感じでしたが、そうではなくそもそも園の方で把握していないことが問題であり、親が迎えに行ってから初めて気付くものでは遅いと思います。</li> <li>• アンケート回答欄に「どちらともいえない」を追加してほしい。「良い」「良くない」では判断しづらい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 過去には0～2歳児も参加していたこともありますが、日常の遊びを制限して練習に参加する子どもの負担や会の運営上の問題もあり、現在は3～5歳児を対象に行っています。</li> <li>• テレビの写真はホームページ（インターネット上）に上げないことを前提に撮っていますので、自由度が高く子どものありのままの状態を写したものを放映しています。現在の写真をポートフォリオと同じようにホームページにあげるとなると今までと違い写真の撮り方にも配慮が必要ですし、写真の選択や編集も必要になりますので検討させていただきます。</li> <li>• 多少のしみこみもあるかと思いますが、心配をおかけするようなひどい状態になるようなことが無いよう十分注意して遊ばせたいと思います。</li> <li>• 登園している子どもは全て園の管理下にあるため園中の体調管理や事故やけがは全て園の責任であることはまちがいありません。園では体調の変化に気付いた職員が検温をしたり本人に問診したりしながら体調管理に努めていますが、子どもによっては体調の変化を上手く伝えられない子もいます。また、熱があっても平気で遊んでいる子もいます。この場合体調の変化に気付いてあげられなかったのは申し訳ありませんが、最初に子どもの異変に気付いた方が保育者に伝えていたらすぐに対応したと思いますし翌日からの対応も変わっていたと思います。登園中は全てのことを園で把握しながら健康管理や安全管理をしていきたいと思いますが、先日も保護者の方から玄関の「すのこ」から釘が出ていることや我が子の擦り傷に気付いた保護者が本人から原因になった場所を聞いて教えていただきましたのですぐに対応しました。また、お迎えの親がまだ園内にいるのに子どもが外に出ようとしているのに気づき玄関で静止してくれた保護者もいました。皆様のご理解とご協力のおかげで園の安心安全が保たれていることも事実です。重大な事故にならないように保護者でも気付いた時にすぐに声をかけてほしいと思い「そういったところがあったらすぐにお知らせください」とお願いをしました。お迎えにきたときに園庭で具合の悪そうな子どもを見かけた時はすぐに知らせてほしいです。遊具やロフトの異常に気づいた時もすぐに知らせてほしいです。目の前で子どもが危険な遊びをしているのを見かけた時は注意してください。地域・保護者・こども園みんなで子どもを見守ってほしいです。</li> <li>• 具体的な提案をいただきありがとうございます。アンケートの内容を含めて検討したいと思います。</li> </ul>

## 運営全般

- 秋の遠足や雪遊び遠足が毎年あるのに今年度が無かったのには何か理由があるのですか？
- 冬の床は冷たくて寒いので裸足保育は少しかわいそうな気がします。防災の点から保育者が靴を履くのは理解できますが、災害が起こった時、子どもたちは裸足で避難可能なんですか？（室内でガラスの飛び散りがあった時）
- 以上児で作品づくりや絵を描く時間が少なくなったと思います。作品を作ったりするのが好きな子がいるので、もう少しそういう時間を欲しいなと思います。
- きりん組の収穫祭ですが、いろんな学校で集団食中毒やコロナ、インフルが流行中でおにぎりをにぎるのはどうかと思いました。
- お部屋の環境の変化を楽しみにして、やってみよう！！と思う作りになっているので、チャレンジしている姿が見れてうれしい。クラスの先生が優しく、よく先生の名前を言って園遊びをしたりしている。
- ボックスティッシュやウエットティッシュを朝持っていくのを忘れてしまう事があります。（集めている期間中）4月に1年分を収集するのはダメですか？帰宅後は覚えているけど、朝は忙しくて・・・忘れてしまうので。
- 働く親の負担軽減を図るためにお弁当持参の遠足は、春の遠足だけに行っています。遠足に代わる行事として、りす・うさぎ組が宮の森こども園に行ったり、3～5歳児は給食センターの見学や学童の森に行ったりしています。また、年長・年中交流では宮の森こども園に行きました。きりん組は吉野地区、ばんだ組はクリスマスツリーの森で植樹体験もしています。雪遊び遠足は雪不足で安平山スキー場のコンディションが整っていないことが多く、また、変更したくてもバスの関係で予定変更ができず中止になることもありました。そり遊びは京町公園築山でも十分楽しむことができるので、今年からバス借り上げの予算計上をせず中止にしました。
- 震災後しばらくは靴を履いていました。現在は土踏ますの形成や健康促進等を考えてはだし保育を推奨していますが、寒いときに靴下を履くことは禁止していません。裸足で避難が可能なのかという質問ですが、
  - ①建物の損壊やガラスの飛散等があった場合は、保育士が安全な避難路を確保して誘導します。
  - ②一時避難場所として南園庭は裸足でも歩けるよう園庭の土を入れ替えました。
  - ③0～1歳児は避難車、2歳児はいったん外に避難した後、移動用の長靴を常備しています。
  - ④震災の経験から震度6程度の地震でも園内のガラスは破損しないと想定しています。
- クラスごとに斉指導で作品づくりをすることはなくなりましたが、それぞれの子どもにいつまでに完成させるか日程を知らせて作りたいと思った時に指導して作っています。また、日常の活動では作品づくりが好きな子の作りたいものに合わせて自由に場所を選ぶこともできますし材料も豊富に提供しています。以前よりは時間も増えていると思います。
- 食育として町の栄養士の指導を受けながら実施している事業です。調理前に石鹸で手洗いをしてから握るなどの衛生対策をしていましたが、その時期の状況を考慮して栄養士と検討していきます。
- 我が子のチャレンジする姿を見てうれしいと思っている保護者がいることに感激しています。これからも「一人ひとりのやりたい、やってみよう」「試行錯誤」を大切に保育環境づくりに努めていきます。
- 集めたボックスティッシュなどを収納するスペースに限りがあります。改善案として次年度は一度に2個ずつ集めたいと思います。

<p>たて割り保育</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• たて割りになってから感染症のクラスターが増えたと思います。</li> <li>• 前期アンケートで「クラスを自由に移動して好きな所で遊べるなら、たて割りクラスを作る必要性があったのか」という意見がありました。同感です。しかし、説明会ではもう元には戻さないとのことだったので、何のために意見を募っているのか疑問です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ひとたび感染症が発生した際には、クラスに関係なく兄弟や一緒に遊んでいた子に感染する確率が高いのが通常です。たて割りなので年齢に関係なく感染が拡大するのをクラスターと表現されているのではないかと思います。未満児のように同年齢クラスで生活していれば同年齢クラス内で感染が広がるのが普通です。園としてたて割りになったから感染症のクラスターが増えたという認識は持っていません。園の感染症対策の基本は感染者を園に入れないことです。子どもの体調が悪くときは完治するか原因がわかるまで登園させないでください。体が弱っている時は感染しやすいです。感染の状況はおがスマで情報提供しています。感染予防対策として皆さんのご協力をお願いいたします。</li> <li>• クラスを自由に移動して好きな所で遊べるのもたて割りクラスの良さです。たて割りクラスを作る必要性については前期のアンケートの結果でも説明させていただきました。改めてご理解をお願いいたします。たて割り保育は、異年齢の子と一緒に遊び関わることを通して、ともに学び合い、成長していくことを目的にして導入しました。特に2歳児までの保育士の配置は子ども6人に1人で「保育者は教え導く存在、子どもは教え導かれる存在」という関係性が強くなりますが、3歳になると子ども20人に1人の配置となり、「保育者は教え導く存在、子どもは教え導かれる存在」という関係性で育まれる成長よりも、たて割り保育で「異年齢の子と一緒に遊び関わることを通して、ともに学び合う」という新たな関係が加わることで、さらなる成長が促されます。この後期アンケートの結果でも7割の保護者に肯定的な評価をいただいています。たて割り保育は宮の森をはじめ他のこども園でもすでに導入されその教育的な効果は実証されています。本園でも保育の専門である職員が十分検討し導入したものです。運用上の細かな問題点を解決していくためには、保護者の皆さんの意見も大事な判断材料です。気になる点などありましたらアンケートを待たずいつでも声をかけて頂きたいです。次年度は今年の年長児の姿を見て育った年中児が年長児としてリーダーシップを発揮して、さらにステップアップしたたて割り保育の生活になるのではないかと期待しています。</li> </ul>
<p>うんと動く会 やってみよう会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• うんと動く会ややってみよう会は見ていて楽しくなかった。子どもの普段の様子よりも練習の成果、頑張っている所が見たかった。先生達しか満足していませんでした。</li> <li>• やってみよう会など、登園渋りがなくなって子どもが楽しそうとのことですが、練習もなしで好きなことをしているのだから楽しいのは当然だと思います。やはり年齢クラスごとの発表が見たかったです。</li> <li>• 保育者は新しい取り組み（たて割り保育、運動会、発表会）の反省点などがあれば聞きたいです。</li> <li>• 良い影響があるとは思いますが、やってみよう会やその他の行事でも3～5歳児がみんなでやることを前提にしているためか内容が簡単なものになってしまったのではと感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 従来の運動会や発表会をねらいから見直し、現在の子ども観や保育方針に基づいた「うんと動く会」「やってみよう会」に取り組みしましたが、見て楽しくなかったという点については真摯に受け止めています。ねらいそのものが変わった事について改めてご理解をいただきたいと思いますが、内容については私たちも決してこれでいいと思っているわけではありません。現在の園の子ども観や保育について保護者の皆さんと話し合う際の良いテーマだと思います。次年度はあらためて私たちがねらいから見直した経過や今後の在り方について保護者の皆さんと話し合う機会を設け、互いの理解を深めたいと思います。</li> </ul>

<p>小学校との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年間お世話になりました。当初、たて割り保育にとまどいもありましたが親の心配をよそに子ども同士遊んだり面倒を見たりと、その時々で役割を担って様々な接し方を学んでいたようで安心しました。時々びっくりさせる出来事やハラハラすることもありましたが、先生方やお母さん方とお話する機会や相談させていただく時間も有り、親の私も様々に学習させていただいたと感じています。気になる点として子どもの主体性を尊重した活動は子ども目線からするととても良いと思います。それが小学校に上がる時にどう生かされるのか、また、小学校での取り組みなど全く見えてこないのが不安です。年長さんだけでも時期が来たら小学校での子どもへの関わり方や活動、取り組み内容など知る機会を設けていただけたらうれしいです。(つみきのくらしのような)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>たて割り保育の取り組みにご理解をいただきありがとうございます。子どもの主体性を尊重した活動が小学校にどう生かされるかという質問ですが、現在の幼児教育では子どもの主体性や好奇心、自尊心、やり抜く力、思いやり等の数値では測れない非認知的能力の育成を図ることが求められています。中でも主体性(やる気)は学校での学習・活動の原動力になる能力です。この非認知的能力を身に付けた子とそうでない子の違いは5年生ぐらいから見られると言われています。困難な問題でも主体的に取り組み自分なりの方法で解決しようとする子と先生に言われたことは真面目にやり成績もよいが、困難な問題に対しては習ったことがない、やったことがないからできないとあきらめてしまう子がいるそうです。この違いは豊かな体験を通して培われた非認知的能力の差だと言われています。</li> <li>中央小では今年から1年生がゆっくと小学校に慣れてもらうために入学後3週間は4時間授業にするそうです。互いの垣根を低くして小学校と連携を深めることは大事な課題です。来年度は現在の小学校の取り組みなどを知る機会を設けられるよう小学校と協議したいと思います。</li> </ul>
----------------	---	---

今年度新たに取り組んだ運動会「うんと体を動かす会」や発表会「やってみよう会」でしたが、様々なご意見をいただきました。賛成・反対、どんなご意見でもお子さんを預けている園の活動に関心を持って見て頂いている方がたくさんいるということが私たちの励みになります。反対が多いからやめるという選択肢もありますが、納得し賛成してもらうために職員みんな考えて工夫改善に努めることが、園の活性化にもつながります。

保護者も保育者もこのアンケートの限られた紙面では伝えきれなかった思いが沢山あると思います。次年度は保護者の皆さんと直接話し合いができる「クラス懇談会」「個人懇談」「つみきの暮らしをのぞいてみる会」をはじめ、仮称「保護者会役員との懇談会」等があれば、この機会を利用してたくさんの保護者の意見を聞かせてもらいたいと思っています。

アンケートに限らず、質問、疑問、感想、意見、提案、苦情等、いつでも受け付けています。気になる程度の段階のものでも躊躇せず声をかけてください。